# 紙チップ作品作り

昨年 11 月 11 日に開催された備前市ふれあい福祉祭りの シンボルツリーを当施設がリメイク製作させていただきま した。

作成に一か月半と限られた期間の中で、利用者・職員全員で材料の準備から製作まで携わりました。一本一本の木から芽が出ているように見えることから「ドリームスプラウト〜夢の新芽〜」と名付け、無事に備前市役所に納品することができました。 (生活支援員 渡辺恵花)



# 寄付・物品寄付のお礼(順不同)

令和5年6月~令和5年11月

- ○西村 茂 様 ○本原 孝也 様 ○奥山 進 様
- ○小橋 弘正 様 ○原 景子 様 ○前原 勝治 様
- ○周藤 和美 様 ○内田 安重 様
- ○倉敷ジャンナ 井垣 吉貴 様
- ○地域の方から、旬の野菜をたくさんいただきました。お心遣い誠にありがとうございました。

# 利用者様の動き

7月7日 横林潤一様 7月21日 湯浅美咲様

所 6月29日 野山浩海 様

# 職員の動き



新任 藤原久志(7月1日採用) 福祉現場で培った経験、体験で皆さんを サポートさせていただきたいです。皆さ んの笑顔がモチベーションです。

退職 三宅一史(9月30日付) お世話になりました。

#### 計 報

監事 周藤孝雄様がご逝去されました。ここに生前のご厚誼 に深く感謝申し上げ謹んでお知らせいたします。

#### **行事予定** (1月~3月)

1月23日 健康診断

3月13日 理事会

2月 第三者委員会

3月20日 家族会役員会

3月4日 春の寿司

変更等になることも有り得ますのでご了承ください。

#### 調理クラブ

調理クラブでは毎月2回、50人分のおやつ作りをしています。50人分と聞くと大変そう…と思うかもしれませんが、利用者の方は皆、途中であきらめることなく自分たちで出来ることを楽しみながら頑張って調理されています。 頑張った分、他の利用者の方から「美味しかった」と感謝されると、とてもうれしそうにされています。

当クラブではこれからも利用者の方には自分で作って食べる事の喜びや、感謝される喜びを感じていただき、楽しく充実した時間になればと思っております。

(事務員 旧田志織)









# 編集後記人

松の内の賑わいも過ぎ、寒さ厳しい今日この頃です。今年 もぽれぽれの元気な姿をお届けできたらと思っております。 作成にあたり、お力添えいただきました皆様に心より感謝申 し上げます。 (広報委員 吉崎郁子)





発行/社会福祉法人 恒和永千会 障害者支援施設ぽれぽれ 〒709-0523 和気郡和気町小坂 1273-7 TEL:0869-88-9777 FAX:0869-88-9778



#### 新年のご挨拶

理事長 神田光弘

皆さん明けましておめでとうございます。本年もどう ぞよろしくお願い申し上げます。新しい年を迎え、気持 ちも新たにひとことご挨拶を申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウィルスが2類から5類へ移行し、社会はようやくコロナ前の生活へと戻っていこうとしていますが、インフルエンザなど他の感染症の新たな流行もあり、アフターコロナも気を引きしめながら引き続き諸施策を講じていく必要があります。

また、一昨年から続くロシア・ウクライナ戦争、イスラエとハマスによる紛争などによる先行きの不安定な社会状況がまだまだ続いており、それらに関連して物価が高騰するなどの社会への影響も現れています。社会が不安定になると、弱者へその煽りがおよぶことになり、これらの迅速な終息による安定社会を願うばかりです。

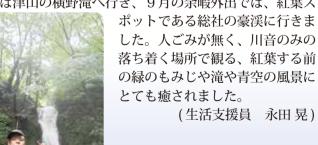
当施設においても昨夏頃、入居者や職員に新型コロナによるクラスターが発生し、また金銭の紛失事故の発生など、家族会の皆様をはじめ多くの方々にご迷惑・ご心配をおかけいたしましたことをお詫び申し上げますとともに、これらの諸問題に対応する改善策や法令改正に対応する施策、設備の改善等をさらに進めていく所存です。

私たちは今後とも「ぽれぽれ」の利用者、家族会の皆様 役員・職員の皆様が共に笑顔で平穏な日々を過ごしてい けるような施設を目指して、職員一同明るく楽しく運営 を進めていきたいと存じます。

最後になりましたが、地元の皆様、利用者・家族会の皆様、役員、職員の皆様の日頃よりのご支援・ご協力に感謝申し上げますとともに、皆様の益々のご健勝、ご多幸をお祈り申しあげ、私の新年のご挨拶といたします。

# 分 場

表町分場では、週に2回、表町商店街のゴミ拾いを利用者と、職員で行っています。何年も続けている活動で、地元の皆さまにも感謝されています。時々、街ゆく方に「お疲れ様。ありがとう。」と言われると本当にほっとします。夏には津山の横野滝へ行き、9月の余暇外出では、紅葉ス





#### ご挨拶

ぽれぽれ家族会 会長小田早苗

早いものでぽれぽれにお世話になって 15 年が過ぎました。入所した当時は、大きな声で騒いだり、暴れたりしていましたが、少しずつ落ち着いて来ている様に思えます。醤油やタレが大好きで、そのまま飲んでいたので腎臓が少し弱っていました。飲み物は一気飲み、食べ物は吐くまで食べ続けていましたが、今では自分で限界を感じ、食べる事を満腹時に止める様になりました。少し太り気味な体形もスリムになり、格好良くなって来ました。ぽれぽれでの規則正しい生活のおかげと、安心しています。こだわりが強くなり、タオルを何枚も丸めてボールの形にして持っているユニークな子ですが、彼の個性だと最近では理解出来る様になりました。

今年家族会の会長という大役をいただきましたが、みなさんと色々な事を共有したり、励まし合ったり出来ればいいなと思いながらも、アッという間に時が過ぎ今年も終わりを迎える頃になりました。縁が有って出会えた私達なので、職員の方と一緒に悩みや、疑問に思う事を話し合える仲になれたらいいなと思います。私達は1日も長く元気に、楽しく生きていく事が、子供達の幸福だと思います。今後楽しく有意義な会がもてたらいいと思いますので、みなさんどんだん意見をお聞かせ下さい。みなさんと共に、会を盛り上げていけたらと心から思っております。よろしくお願い致します。

# 抱負

この度、勤続 10 年の節目を迎えることになり、今まで 携わってきた職員・役員の方々、ご家族様には心から感謝 申し上げます。

多くの事を学び、多くの出会いがあり、改めて歳月を実 感しています。

振り返ると、事務長という職責の重さに戸惑いながら、 年数を重ねるごとに障害者支援・法人運営の難しさや深さ を知り、失敗を繰り返し経験を積み、暖かいご支援を頂き ながら成長してきたように思います。

平成 29 年以降、社会福祉法人の制度は激変し、ガバナンスの確立、運営の透明性と情報開示、新たな財務規律への対応が求められるようになりました。法人が法令に遵守した適正な運営となり発展していけるように、今後も多くの事を吸収して更にスキルアップしていきたいと思います。

ご利用者様が毎日の生活の中で、喜びを感じられること。 楽しみがあること。心地よく、充実した生活が送れるよう 努めるとともに、職員一人ひとりが誇りと責任を持ち、働 きやすいより良い職場作りに努力して参ります。今後とも ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

(事務長 黒原 千晶)





年始におせち料理は食べられましたか。食も多様化の時代にあり、昔ながらのおせち料理を準備されるご家庭も少なくなってきているかもしれません。季節ごとの年中行事や人生儀礼などのお祝いの日に食べる特別な料理を『行事食』といいます。それぞれの『行事食』には、自然への感謝と祈り、家族の幸せや健康を願う意味が込められています。また、その多くは、からだに優しくて美味しい旬の食材を食べることが大切にされており、食で季節を感じることができます。

当施設では、こうした日本の素晴らしい食文化を大事にし、一人ひとりの嗜好や年齢の違いにも配慮しながら、栄養バランスを考えた献立を作成しています。今年も、利用者の皆さまに喜んでいただける食事が提供できるよう努めて参ります。(参考;農林水産省 HP)

(管理栄養士 吉崎郁子)



明けましておめでとうございます。

当施設におきましては、昨年7月に新型コロナ感染症のクラスターが発生してしまいました。しかしながら、お陰様で感染した利用者様や職員の全員が重症化することなく、無事に約1ヵ月でロックダウンが解除でき安堵致しました。その間、保護者の皆様には大変ご心配とご迷惑をおかけ致しましたことを、心よりお詫び致します。その後も、利用者の皆様には体調を崩される人もなく、全員お元気で新年を迎えられたことを、何より嬉しく思っています。

さて、昨秋から季節性インフルエンザが大変な流行をしています。これは、昨年5月8日から新型コロナの五類移行で、感染対策が緩和されたことが影響していると言われています。それ迄は、新型コロナが二類相当であり、感染対策を強化していたため、新型コロナやインフルエンザの拡大を防げていたのですが、それに伴い、国民のインフルエンザへの免疫が低下したことも原因の一つに上げられると考えられます。ぽれぽれでは、昨年12月1日に利用者様と職員の全員がインフルエンザワクチンの接種を受けました。利用者の皆様に、今年一年を健康で楽しく笑顔で過ごしていただくためにも、手洗い、うがい等の基本的な感染予防はもちろん、「手を抜かない」徹底的な感染予防対策を進めて参ります。本年も何卒よろしくお願い致します。